

桜 島

火山活動度レベル(平成 17 年 10 月)

2 (比較的静穏な噴火活動)

概 況

噴火¹⁾は2回ありましたが、桜島の噴火活動としては比較的静穏な状況が続いています。

・噴火活動の状況

小規模な噴火が2日に2回発生しました。また、時折ごく小規模な噴火も発生しましたが、爆発的噴火は観測されませんでした。

・噴煙活動の状況

時折、灰白色や乳白色の噴煙が上がるのを観測しました。灰白色の噴煙高度の最高は、2日の噴火に伴う1,100m以上(1,100mで雲に入る)でした。

・降灰の状況

降灰量²⁾の月合計は0.5g/m²未満(降灰日数4日)でした。

・地震・微動活動の状況(表1、図1、図2)

火山性地震は長期的には少ない状況が続いています。
火山性微動は発生しませんでした。

・地殻変動の状況(図4)

GPS連続観測による地殻変動観測では、長期的には東西方向にわずかな伸びの傾向が続いていますが、短期的には3月以降伸びの鈍化が見られます。

表1 最近1年間の地震・微動回数(B点:2004年11月~2005年10月)

2004~2005年	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
地震回数	161	210	134	205	231	125	236	50	129	132	303	202
微動回数	12	1	2	0	4	3	2	0	29	2	5	0

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは一定規模以上の噴火の回数を計数しています。ここで示す噴火回数はこの回数を示します。
- 2) 鹿児島地方気象台(南岳の西南西、約11km)における前日09時~当日09時に降った1m²あたりの総降灰量を観測しています。

この資料の作成に当たっては、気象庁のデータの他、鹿児島大学、京都大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も使用しております。

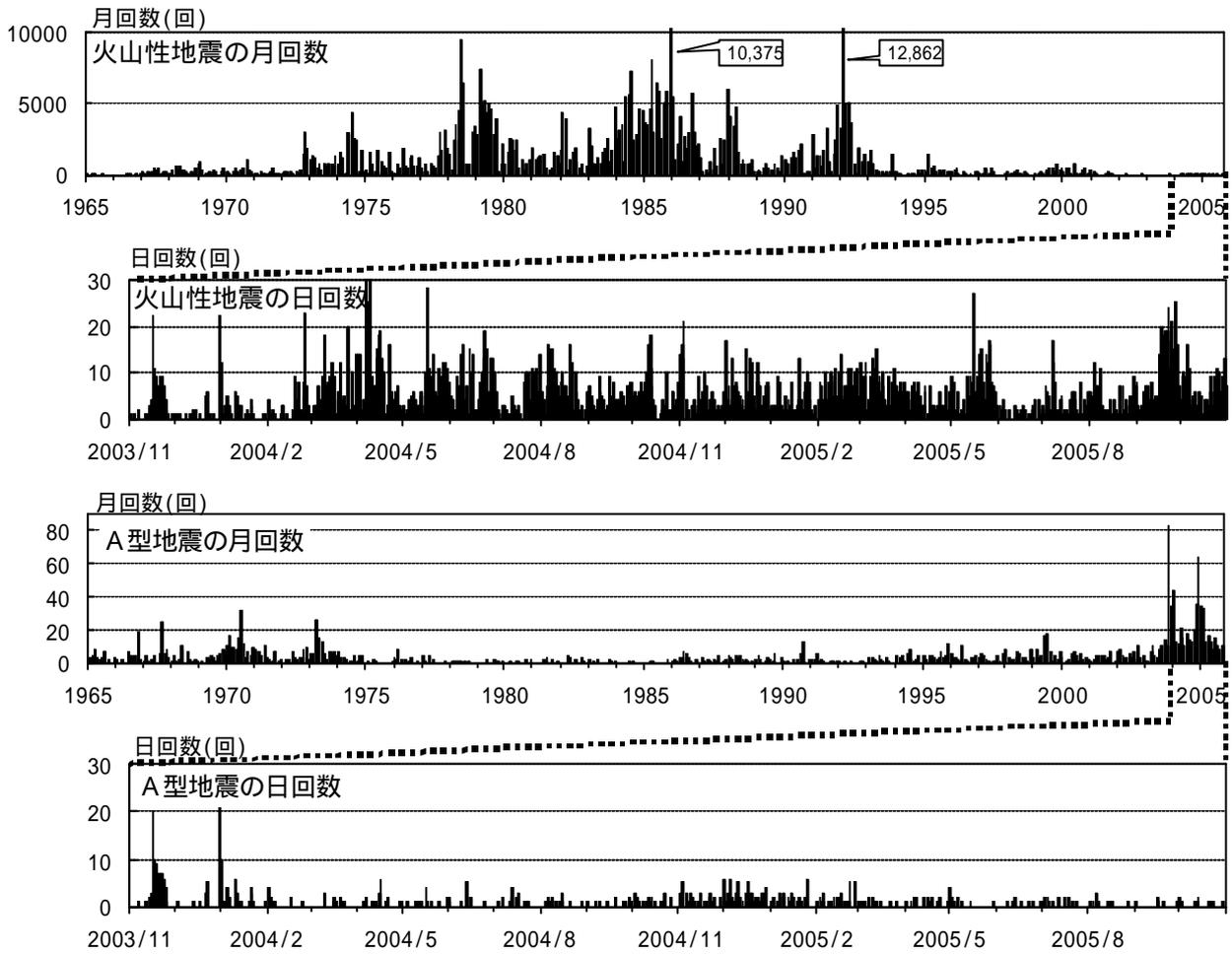
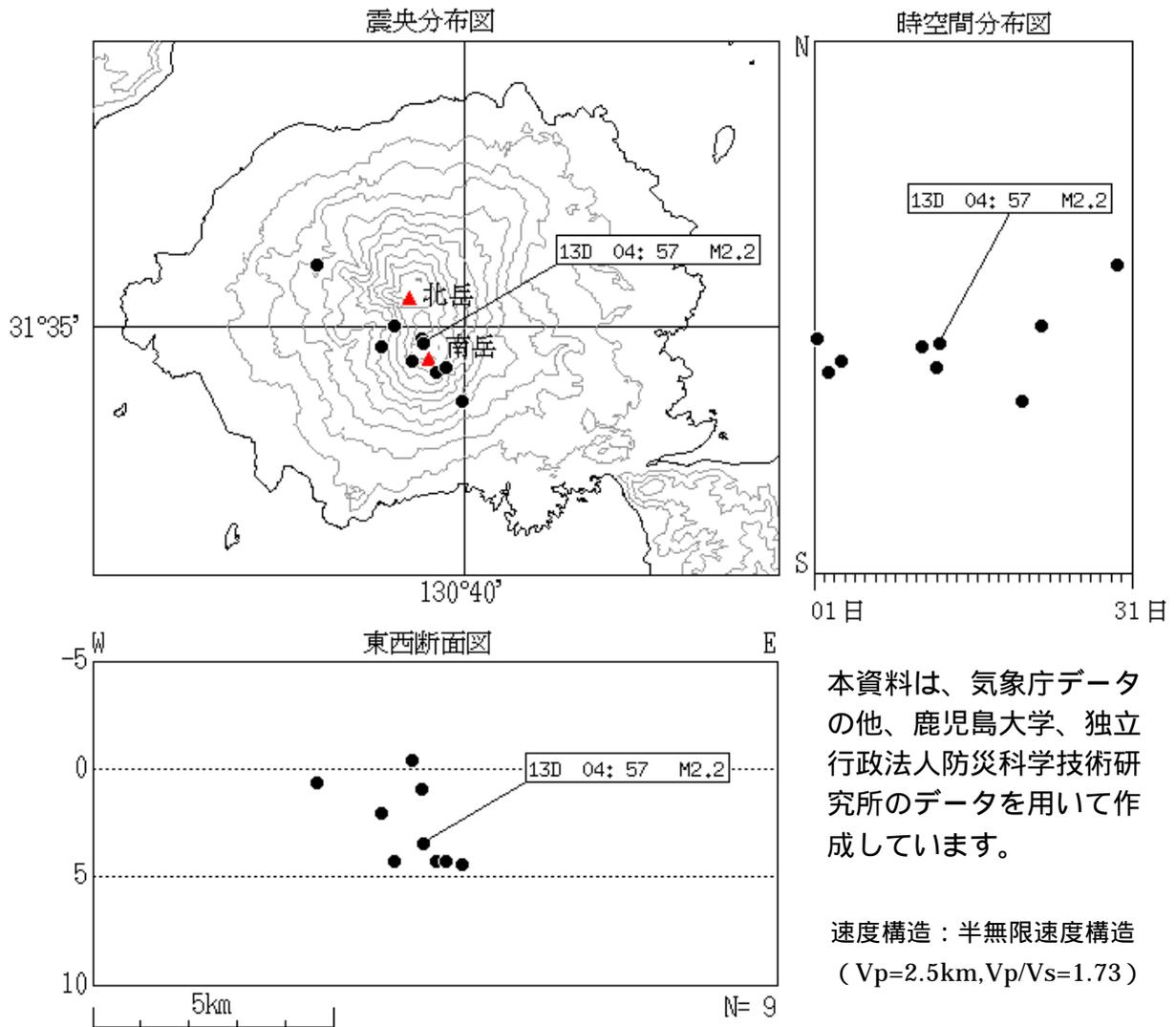


図1 火山活動経過図(1965年1月～2005年10月)
 火山性地震は、長期的には少ない傾向が続いています。
 火山性A型地震は、日回数0～2回で経過しました。



本資料は、気象庁データ
 の他、鹿児島大学、独立
 行政法人防災科学技術研
 究所のデータを用いて作
 成しています。

速度構造：半無限速度構造
 ($V_p=2.5\text{km/s}, V_p/V_s=1.73$)

図2 火山性地震の震源分布図(2005年10月1～31日)
 震源は南岳直下の海面下0～5kmに分布しています。
 これは従来発生している場所と同じです。

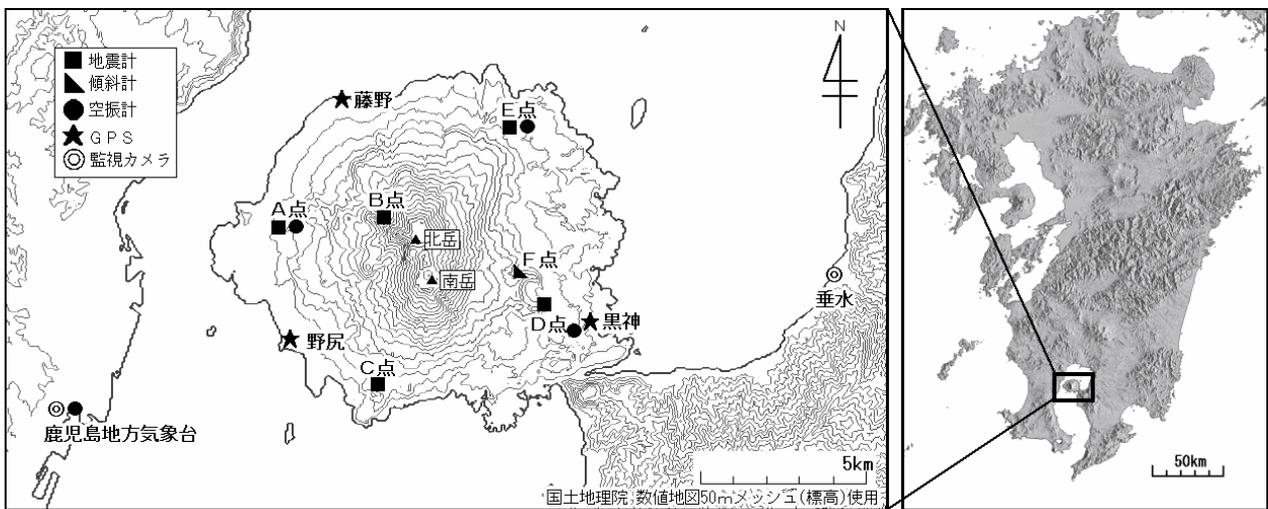
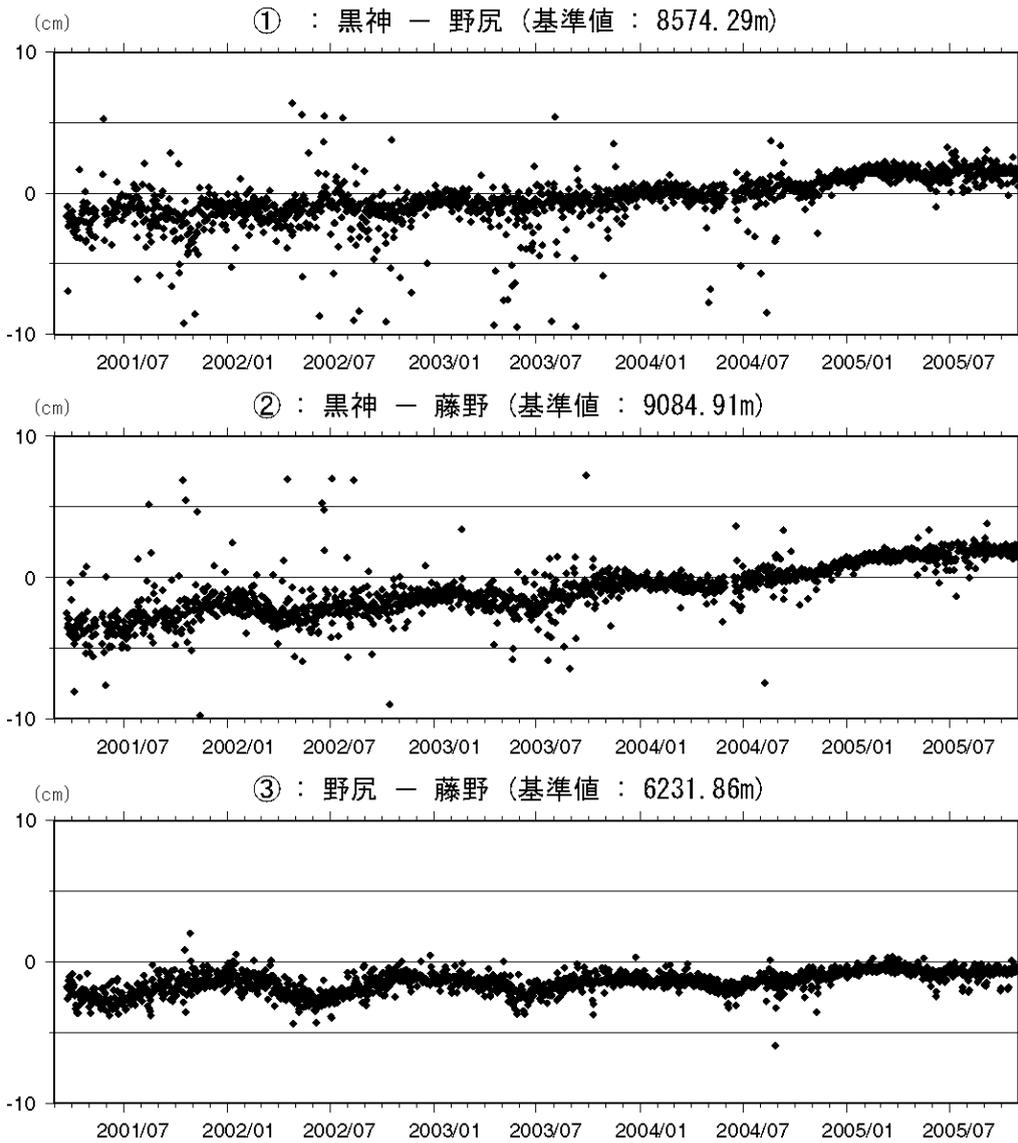


図3 観測点配置図



基線長変化グラフの空白部分は欠測

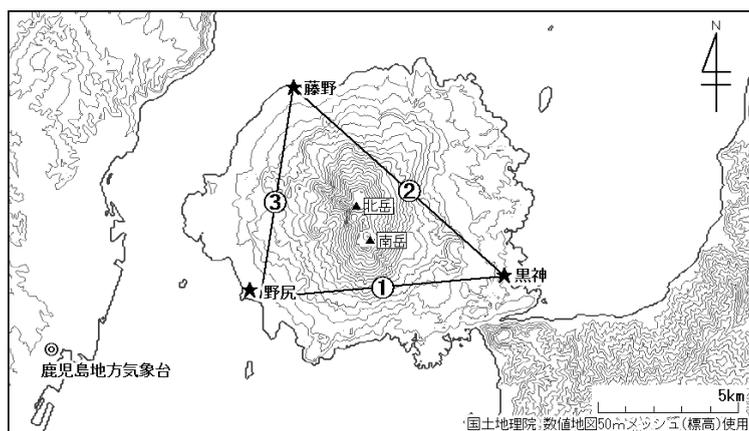


図4 GPSによる基線長変化(2001年3月22日~2005年10月31日)
GPS連続観測による観測では、長期的には東西方向にわずかな伸びの傾向が続いていますが、短期的には各観測点間の基線長の伸びが鈍化しています。